

新メカニズム実現可能性調査シンポジウム2012

～二国間オフセット・クレジット制度(BOCM)構築に向けて～

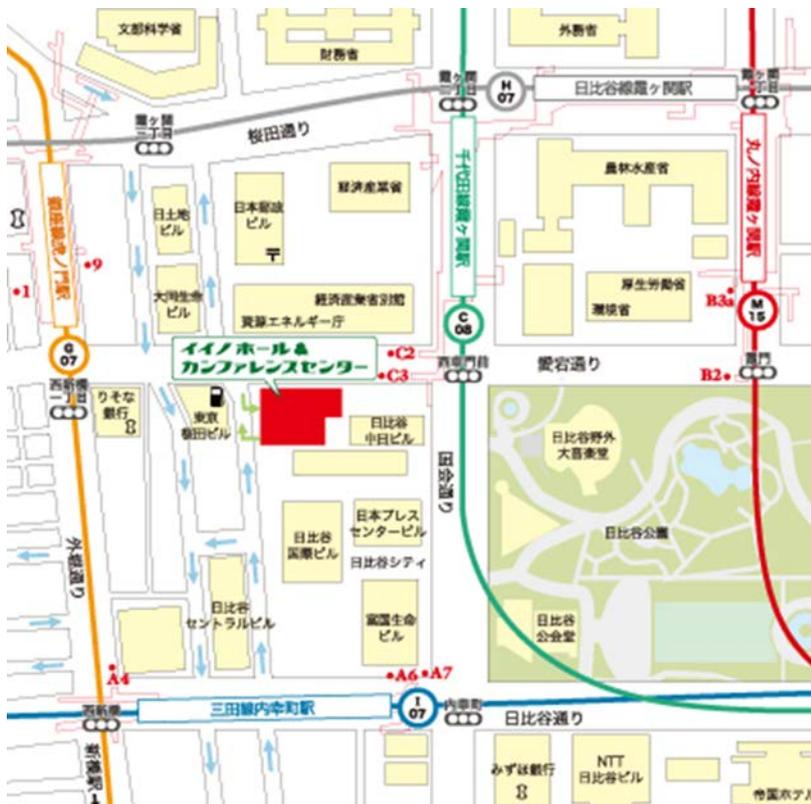
我が国は、日本の先進的な低炭素技術等の海外展開による排出削減が適正に評価される仕組みが重要であるため、そのための新たなメカニズムとして、中期目標達成に活用できる「**二国間オフセット・クレジット制度(Bilateral Offset Credit Mechanism: BOCM)**」の導入を提案しています。昨年末、南アフリカ・ダーバンで開催された COP17 では、締約国が個別に又は共同で、各国の事情に応じた様々な手法の実施に向けた検討を行うこととなり、二国間オフセット・クレジット制度の実現に向けた様々な取組を進めていくことが求められています。

本年度は「**新メカニズム実現可能性調査**」として、BOCM 案件の実現可能性調査(Feasibility Study: FS)を 29 件実施してきました。本シンポジウムでは、BOCM を含む新メカニズムの国際交渉の最新情報と、BOCM FS の重要性に鑑み、本年度実施の中で得られた教訓を基にした今後の方向性を示すとともに、本年度の新メカニズム実現可能性調査の結果報告を行います。

参加費無料 (事前にお申込ください)

日時	2012年2月27日(月) 13:00~17:00 (12:00 受付開始)
会場	イイノホール 〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビル 4階
定員	500名

会場アクセス



- ・ 都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A6 出口より 日比谷シティ経由で直結
- ・ 東京メトロ 丸の内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」C3 出口 徒歩 1 分
- ・ 東京メトロ 銀座線「虎ノ門駅」9 番出口 徒歩 3 分
- ・ 東京メトロ 有楽町線「桜田門駅」4 番出口 徒歩 10 分
- ・ JR 山手線・京浜東北線・東海道線・横須賀線、都営地下鉄浅草線、ゆりかもめ「新橋駅」 徒歩 10 分

ご来場には公共交通機関をご利用ください



環境省

主催：環境省、(公財)地球環境センター(GEC)



プログラム

13:00 開会

開会あいさつ — 環境省市場メカニズム室長 上田康治

13:05 「二国間オフセット・クレジット制度(BOCM)に関する環境省の取組」

— 環境省市場メカニズム室 国際企画官 水野勇史

13:25 「新メカニズム・CDM/JI 実現可能性調査の改善について」

— (公財)地球環境センター(GEC)気候変動対策課 総括主任 元田智也

13:45 Q&A

平成 23 年度新メカニズム実現可能性調査報告

14:20 「タイ・炭素クレジット認証付ビルエネルギー管理システム(BEMS)制度の構築を通じた省エネ推進に関する新メカニズム実現可能性調査」

— (株)山武

14:40 「中国・大連市における節水型衛生機器普及による水使用量削減に伴う省エネに関する新メカニズム実現可能性調査」

— 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券(株)

15:00 「マレーシア・食品残渣メタン発酵処理をモデルとしたエネルギー創出型廃棄物管理活動に関する新メカニズム実現可能性調査」

— (株)市川環境エンジニアリング

15:20 「タイ・バンコク大量高速輸送機関(MRT)ネットワーク整備に関する新メカニズム実現可能性調査」

— (一財)日本気象協会

15:40 「インドネシア・中央カリマンタン州における REDD+に関する新メカニズム実現可能性調査」

— 三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング(株)

16:00 平成 23 年度新メカニズム実現可能性調査を踏まえた今後の展開 (質疑応答セッション)

— コメンテーター: 平石 尹彦((財)地球環境戦略研究機関 理事)

— 会場からの各報告に対する質疑応答

17:00 閉会

(敬称略)

■参加申込方法

氏名、所属団体名、連絡先(電話番号、Eメールアドレスなど)をご記入の上、下記申込先まで(ホームページから、もしくはEメール、FAXにて)お申し込みください。尚、参加証・登録証は発行しませんので、あらかじめご了承ください。定員になり次第、受付を終了させていただきます。

申込・問合せ先: (公財)地球環境センター「温暖化対策シンポジウム」係 (申込締切:2月23日(木))

ホームページ: <http://gec.jp/jp> Eメール: gwsympo@gec.jp TEL: 06-6915-4122 FAX: 06-6915-0181

※本シンポジウムでは、資源節約のため、当日の講演内容資料(印刷物)の配布は行いませんのでご了承ください。講演内容資料は、シンポジウム開催までに上記ホームページに掲載しますので、そちらをご利用下さい。

※申し込んだ際に収集した個人情報、本シンポジウムに関する事務連絡及び翌年度の案内送付にのみ使用し、他の目的には一切使用しません。

新メカニズム実現可能性調査シンポジウム 2012 参加申込書(FAX 送信用)

FAX: 06-6915-0181

○ 氏名(ふりがな): _____ (_____)

○ 所属団体、部署: _____

○ 連絡先: _____

TEL FAX Eメール